

# 横浜に2棟総延べ5.6万<sup>2</sup>m

権田金属工業（相模原市）と都市再生機構（UR）、イオンモールは28日、横浜市内に計画する「(仮称)横浜南幸地区共同建替事業」の起工式を現地で開催した。設計施工は大林組が担当。7月末に着工し、商業棟は2023年秋、住宅棟は25年1月の完成を目指す。

神事では、鍬（くわ）入れを権田金属工業の権田源太郎

## 権田金属工業、UR、イオンモールが起工式

設計施工＝大林組



住宅棟イメージパース

社長、UR東日本賃貸住宅本部の田島満信本部長、イオンモールの佐藤久之常務取締役開発本部長、鋤（すき）入れを大林組の笹川淳副社長執行役員営業総本部長兼東京本店長が行った。その後、玉（ぎ）をささげ、工事の安全を祈願した。

商業棟の整備を担当する権田金属工業の権田社長は「ここは弊社創業の地だ。地域の皆さんの期待に応えられる商業施設にしていく。横浜駅のショッピング街とうまく差別化していきたい」と語った。

住宅棟の整備を担うURの田島本部長は「横浜中心部での賃貸住宅の建て替えは、な

鍬入れする（左から）権田社長、田島本部長、佐藤開発本部長



かなかない取り組みで大きな意味がある。しっかりと事業を進めたい」と述べた。

大林組の笹川副社長は「3年前まで横浜の支店長だったが、その当時から携わっていたプロジェクトだ。事故なく無事に引き渡せるように、全力を尽くして頑張りたい」と決意を述べた。

鋤入れする笹川副社長



施設の規模は商業棟S造地下1階地上10階建て延べ約3万6000平方メートル、住宅棟RC造地下1階地上22階建て延べ約2万平方メートルの総延べ約5万6000平方メートル。

所在地は、横浜駅に近接する西区南幸2-16-1ほか。

佐藤圭所長（大林組）の話し「第三者災害を絶対に出さない。現場作業員が楽しく働ける場づくりを意識し、愛着を持って仕事ができるよ

に工事を進める」

